



?

?

催眠



ON/OFF

キ
イ
イ
イ





Fuuu♡

Fuuu♡

Fuuu

Fuuu

Fuuu

Fuuu



フワッ♡

フワッ♡

お♡

お♡

ハッ
フワッ

ハッ
フワッ

ハッ
フワッ

ハッ
フワッ



フワッ♡

フワッ♡

お♡

お♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡



アホ

アホ

アホ

アホ

アヒル









可愛い♡

可愛い♡

可愛い♡

可愛い♡

ハァ
フム

ハァ
フム

ハァ
フム

ハァ
フム





フワッ♡

フワッ♡

お♡

お♡

フワッ♡





おっさん

おっさん

おっぱい

おっぱい

おっぱい

「...? はい...
私は何を命令されても、疑問を持たずに従います♡」

「どうぞ、いろんな命令をして楽しんでください♡
では、正気に戻ります♡」

キイキイ



「はっ!? な、何が起きたでござるか!？」

「えっ!? 騎乗位をして、先にイってしまったら性奴隷!？」

「マサカ」

「マサカ」

「望むところでござるっ! 絶対に負けないからなあっ!」



「や、や、ばい、いいッ♡
脳みそがとろとろに溶けそうっで、ギョギョっ♡」

「♡♡♡」

「♡♡♡」

「♡♡♡」

「♡♡♡」

「こんなの、すぐイッちゃいそうッ♡
だ、ダメで、ギョギョッ!
我慢っ! 絶対にこの勝負に勝つッ!」

「バァァァッ♡
チュッ♡
バァァァッ♡
チュッ♡

「バァァァッ♡
チュッ♡
バァァァッ♡
チュッ♡

「バァァァッ♡
チュッ♡
バァァァッ♡
チュッ♡

「バァァァッ♡
チュッ♡
バァァァッ♡
チュッ♡



あまのムクムク♡♡

ムクムク♡♡

ムクムク♡

ムクムク♡

あま♡

あま♡

ムクムク♡

「はあ…♡はあ…♡」

♡♡♡

♡♡♡

♡おま♡

♡おま♡

「風真いろは、ご主人様の極太おちんぽに大敗北う♡
ご主人様専用肉オナホ化完了しました♡」



「あ、私だけ先にイッてしまい
本当にすみませんでしたっ♡」

♡♡♡♡

♡おま♡

♡おま♡

♡♡♡♡

「ランコからは頑張っで、ご主人様を気持ちよくしてあげるの
でじっくり見ててくださいっ♡」



「どうですかっ
私のおまんこの締め心地、気持ちいいですかっ?」

エロ♡

お♡

お♡

エロ♡

「ありがとうございますっ♡
もっともっともっ腰へん頑張りますね♡」

ハ
チ
ュ
ン
ッ

ハ
チ
ュ
ン
ッ

ハ
チ
ュ
ン
ッ

ハ
チ
ュ
ン
ッ

「しゅごいッ♡
気持ちよすぎて腰止まんないの♡」

エロ♡

エロ♡

お♡

お♡

「ご主人様、もうイキそうですか？
はい♡もちろん、おまんこの奥深くに中出しお願いしますッ♡」

パチン

パチン

パチン

パチン



「あへえ………♡
お腹の底がぽかぽかして気持ちいいですう………♡」

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡わぁ♡

♡わぁ♡

「中出し、本当にありがとうございます♡
今後、ご主人様専用の肉オナホとして
どうぞよろしくお願いします♡」

♡ト♡

